

令和5年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会 (第2回) 配付資料

	ページ
開催要項-----	1
委員名簿-----	2
資料1：令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回） の概要-----	3
資料2：選抜における教育事務所ごとの中学校評定合計平均値-----	7
資料3：令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会 専門部会報告-----	8
資料4：令和5年度千葉県県立高等学校入学者選抜の選抜方法について---	10
資料5：令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）-----	13
資料6：令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜の改善策について---	15
資料7：令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜マークシート式 及び記述式問題による学力検査の実施について-----	20

※別配付資料

- ・令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項
- ・令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査結果及び
令和4年度、令和3年度調査結果のまとめ

令和5年10月10日（火）
千葉県教育会館604会議室

令和5年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第2回）
開 催 要 項

1 日 時 令和5年10月10日（火）
午前10時から正午まで

2 会 場 千葉県教育会館 本館604会議室

3 次 第

(1) 開会のことば

(2) 教育委員会挨拶

(3) 委員及び教育委員会関係者紹介

(4) 報告

① 令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）の概要について

② 入学者選抜の受検に係る調査の結果について

(5) 協議

① 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

② 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

③ その他

(6) 閉会のことば

令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会 委員名簿

No.	氏名	職名	備考
1	佐藤 智司	千葉大学 副学長	大学関係者
2	谷口 和巳	淑徳大学 千葉キャンパス アドミッションセンター 千葉オフィス課長	大学関係者
3	吉野 毅	千葉県商工会議所連合会 専務理事	企業関係者
4	横瀬 正史	千葉県立幕張総合高等学校長 (千葉県高等学校校長会 会長)	高等学校校長会 会長
5	武富 恒徳	千葉県立市原八幡高等学校長 (千葉県高等学校校長会 高校入試対策委員長)	高校入試対策委員長
6	日根野 達也	船橋市立宮本中学校長 (千葉県中学校長会 会長)	中学校長会 会長
7	三浦 明久	印西市立木刈中学校長 (千葉県中学校長会 進路指導部長)	進路指導部長
8	酒井 昌史	茂原市立萩原小学校長 (千葉県小学校長会 会長)	小学校校長会 会長
9	佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校長	私立学校代表
10	粕谷 哲也	君津市教育委員会教育長	市教育長
11	石川 和之	長柄町教育委員会教育長	町村教育長
12	鶴岡 克彦	千葉市教育委員会教育長	政令市教育長
13	菊池 清美	千葉県高等学校PTA連合会 会長	PTA代表
14	木村 得道	千葉県PTA連絡協議会 会長	PTA代表

令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）【概要】
（案）

日 時：令和5年7月25日（火）午前10時から正午まで
会 場：ホテルプラザ菜の花 「あやめ」

1 出席委員（敬称略・名簿順）

谷口 和巳、吉野 毅、横瀬 正史、武富 恒徳、日根野 達也、三浦 明久、酒井 昌史、
佐久間 勝彦、粕谷 哲也（副会長）、石川 和之（会長）、菊池 清美

2 次第

（1）開会のことば

（2）県教育委員会あいさつ

（3）委員紹介

（4）会長、副会長選出

（5）報告

①令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜における採点誤りについて

②令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

ア 結果について

イ 調査書の評定について

ウ 中学校及び高等学校からの意見について

③令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

ア 入試日程について

イ 令和6年度千葉県公立高等学校第1学年入学者選抜要項について

ウ 選抜方法について

④ その他

（6）協議

① 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

② 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

③ 入試改善を受けて実施される令和6年度選抜について

④ その他

（7）閉会のことば

3 報告に対する意見・要望等

① 令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜における採点誤りについて

→改善を進めるに当たって、特にマークシートの導入については直接受検者に影響する。

中学校や高校で必要な対応はあるか意見を募った。

- ・マークシート方式に関して、数校の私立高校でのマークシート実施、中学校での全国学力学習状況調査、マークシート模試、小学校でのスポーツテスト等で使用しているため、受検者にとって特に問題はないと感じる。(複数意見)
 - ・大学入学共通テストでもマークミスが出ている現状があることから、受検者が緊張等でマークミスをしないか不安である。(複数意見)
 - ・マークシートに関しては、採点間違いが非常に少ないという点においては、メリットがあると思われる。
 - ・マークシートについては、現場の先生方は肯定的に受けとめている。
 - ・マークシートをシステムに登録する作業について、ダブルチェック以上の確認作業が必要であると感じる。
 - ・マークシートを体験していない受検者にはサンプルを提示すれば、中学校で説明ができ、丁寧に対応することも可能だと思われる。
 - ・今後の人生を決定する重要な高校入学者選抜であるため、中学校での指導、受検当日に高校が注意すべきことを考え、念には念を入れた準備や声掛けをしていただきたい。
 - ・初めて高校入試で実施するため、マークシートの塗り方について、どれくらいの濃さまで読み取れるのかを確認する等、マークシートで悩むことがなく、受検者が学力検査に集中できるよう、確実に伝達し、準備していただきたい。
 - ・受検番号のマークミス等については、監督者等がチェックするとともに、気がついた時点で、受検者に修正してもらおう等、柔軟な対応が必要である。
 - ・高校の先生方は、細心の注意を払ってこれまでも採点してきた。それでもミスは防げなかった。今後、県教育委員会とも連携を深め、ミスが出ないように取り組んでいきたい。
 - ・採点誤りについて、誤り発覚後すぐに校内マニュアルの点検を始めた。県統一のマニュアルの内容を確認し、校内マニュアルの整理を行う。
 - ・公正な採点をしなければならないことは私立も同じである。**【改善策4】**の臨時休業日は必ず設定する。授業日に採点を行えば、先生方が生徒や授業のことを考えることもあり、採点ミスは起こり得ると考える。
 - ・採点側の先生からは、受検者が多い学校の採点を短時間で行うのは、かなりストレスを感じると伺っている。一部マークシート方式導入しても、変わらないのではないかと。
 - ・学力検査から発表までの時間を確保できればいいが、入試を実施しながら、在校生の考査、卒業式等があるため、入試業務に専念する環境を整備しにくい状況である。
 - ・採点誤りについて考えることは大切だが、誤りやミスは起こりうるものである。起こった際、どう対処するか、リスクマネジメントとしてそういった視点も、持っておく必要がある。
- ② 令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜について
- 令和5年度選抜の実施状況結果、学力検査結果の概要、中学校及び高等学校からの意見等について報告し、その内容について質問・意見を募った。

- ・インターネットで出願をした後も、中学校は志願者がプリントアウトした願書に職印を押したものを郵送するなど、インターネット上で完結しない。私立高校のように、出願は全てインターネット、調査書は郵送という形に、シンプルにしてもらいたい。

③ 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

→令和6年度選抜の選抜要項、日程、令和5年度選抜との主な変更点について説明し、その内容について質問・意見を募った。

4 協議内容

① 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

【事務局説明概要】

- ・令和3年～5年度実施アンケート結果から、回答者の立場による相違、比較的否定的な意見が多く見られる項目等を、現行の入学者選抜の課題を検証するにあたっての視点と設定。

ア 入学者選抜を一本化したことについて（問4、5、7、8、10、11、12）
選抜方法等も含め、入学者選抜全体への影響について等

イ 学力検査の日程について（問8、9、15）
学力検査の2月下旬の実施や、学力検査を2日に分けて実施すること等

ウ 調査書について（問16）
県が定める評定合計の標準値（95）を廃止したことの影響等

エ 学力検査について（問18、19）
英語の検査時間を60分としていることや国語の聞き取り検査の必要性について等
教育委員会会議で取り上げられた学力検査における無答率の高さについて

- ・資料4から分かるように、公立高校の定員未充足数の増加の背景を考えると、公立高校の入試日程を早めるのはいかなるものか。また公立高校の入学定員の削減を望む。

② 令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程案について

【事務局説明概要】

- ・令和7年度入学者選抜における日程について4案を提示
- ・4案とも2日間の検査日の間に休日を挟まず、検査の前日・直後が週休日とならない日程
- ・4案とも令和6年度と比べ、本検査から入学許可候補者の発表までの間を1日増やした日程案
- ・「本検査から追検査受付までの間隔を1日増やした」案、及び「追検査から発表までの間隔を1日増やした」案に、それぞれ日程が異なる2種類の案の計4案を提示

→周りからヒアリングをして第2回で意見を伺う。

③ 入試改善を受けて実施される令和6年度選抜について

【事務局説明概要】

- ・「マークシート」
- ・「デジタル採点システム」の採用
- ・「合否のボーダーライン付近の答案点検の実施」
- ・「採点・点検を行うための臨時休業日を追加設定可能にする」
- ・「採点・点検に関する県教育委員会のマニュアル作成」の5点を改善策として公表

→改善策については第2回で協議する。

④ その他

- ・今後の日程について、第2回は10月初旬、第3回は11月上旬を考えている。日程については今後都合調査をさせていただく。

【資料2】

選抜における教育事務所ごとの中学校評定合計平均値

(平成30年度選抜～令和5年度選抜)

		千葉市	葛南	東葛飾	北総	東上総	南房総	県全体
令和5年度	校数	54	70	74	72	33	62	365
	平均	94.7	94.4	93.9	95.3	94.9	94.8	94.6
令和4年度	校数	54	70	73	72	34	62	365
	平均	94.7	94.1	94.0	95.3	95.9	94.6	94.7
令和3年度	校数	55	70	72	74	34	63	368
	平均	93.8	93.7	93.6	95.0	95.5	94.2	94.2
令和2年度	校数	55	70	72	74	35	68	374
	平均	93.6	92.6	92.3	94.3	94.1	93.7	93.4
平成31年度	校数	55	70	72	74	36	70	377
	平均	94.1	92.9	91.7	95.0	94.5	94.2	93.7
平成30年度	校数	55	70	71	74	37	70	377
	平均	94.2	92.9	91.9	94.6	94.9	93.9	93.6

平均: 学校評定平均値の平均

令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会専門部会報告

1 経緯

本専門部会は、令和3年9月10日、令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会から、令和3年度千葉県高等学校入学者選抜の検証について、専門的な調査・研究を付託された。

2 委員

深山和利主査

今井清仁副主査、鳥海 勉委員、山本友子委員、松山勝司委員、加藤亮二委員
土屋俊之副主査、村上英輝委員、菅原大介委員、森谷一雅委員、山口有紀委員

3 開催日時

第1回 令和3年9月14日(火) 午前9時30分から正午まで
第2回 令和3年10月12日(火) 午前9時30分から正午まで
第3回 令和3年11月4日(木) 午前9時30分から正午まで

4 調査研究内容

(1) 研究主題

- ア 令和3年6月実施の千葉県公立高等学校入学者選抜制度のアンケート結果の分析
イ 新しい入学者選抜制度の検証
(ア) 一本化に改善した目的が、達成されたか。
(イ) 一本化されたことにより、中学校・高等学校にどのような影響が出ているか。

(2) 研究内容

- ア 新しい入学者選抜の改善方針について確認した。
- ・前・後期選抜の理念を継承し、学習の成果に加え、中学校での取組や活動経験等、生徒の優れた面を多面的に評価できる選抜とし、学力検査と各学校で定める検査を実施する。
 - ・中学校・高等学校における授業時間を確保するため、1回の入学者選抜とし、実施時期を遅らせる。
 - ・受検生の負担を軽減するため、学力検査を2日に分けて実施する。
 - ・インフルエンザ罹患による急な発熱等により本検査を受検できなかった者に対し受検機会を保障するため追検査を設ける。
- イ 千葉県公立高等学校入学者選抜改善の経過について確認した。
- ・推薦入試の全校実施（平成9年度）
 - ・特色ある入学者選抜実施（平成15年度）
 - ・前期選抜・後期選抜実施（平成23年度）
 - ・一般入学者選抜＝現行の選抜（令和3年度）
- ウ 「一本化されたことにより、『改善した目的が達成されたか』、『中学校・高校にどのような影響が出ているか』の二つの研究主題」について、令和3年6月実施の「千葉県公立高等学校入学者選抜制度のアンケート結果」を分析しながら、協議を行った。
- 主な意見は、次のとおりである。

(ア) 改善した目標に関して

- ・アンケートから、多くの生徒が一本化されたことに不安を感じていたが、受検校の選択には影響しなかったと答えている。また、一回しか受けられないのでレベルを下げて受検校を選んだとも答えている。
- ・委員からは、改善した目的が達成されたかについては、目標を持った生徒が志願したとする意見と、中学生は受検の際、安全策を取ったようで、達成されていないとする意見とがあった。
- ・一本化されたことにより、中学・高校とも授業時数は増え、授業時間の確保ができた。また、受検生の負担は軽減されたと考えられる。
- ・生徒の優れた面を多面的に評価する目的で二段階選抜が導入され、13校が実施した。
- ・学力検査の成績、調査書の記載内容及び学校設定検査の結果をもとに選抜を行っており、各高校は、生徒の優れた面を多面的に評価したと考えている。ただし、今後、各資料の配点等を検討する等して、各校でより充実した選抜方法に改善してほしい。

(イ) 各高校の特色のPRに関して

- ・各高校は特色を明確にする等の努力をし、その取組は評価できるが、それがうまく中学生に伝わっていない。むしろ、私立高校の方がうまく伝えている。
- ・私立高校の方が、部活動等を積極的に評価しているように思われる。
- ・二段階選抜を行う高校が少なく、高校の特色が明確になっているとは言えない。
- ・選抜方法で、調査書等の内容が全て得点化されたことにより、特色を出しづらくなった。
- ・学校の特色に沿った、中学校での取組を積極的に評価する選抜を実施する公立高校が増えても良いと思う。

(ウ) 二次募集について

- ・費用面で公立・私立の差が少なくなり、二次募集まで受けて公立を希望する生徒は少なくなった。
- ・各中学校では合格発表の数日後に卒業式を予定している。そのような状況で二次募集に志願する生徒は少ない。

(エ) 入試時期について

- ・一本化され公立高校の入試日程が遅くなったが、私立高校の日程は変わらなかった。これにより、私立高校の検査日から公立高校の検査日まで一ヶ月以上の間が空いてしまった。この期間の中学生の精神的な負担を考えると期間を短くするよう日程を検討しても良いのではないか。
- ・休日の翌日に学力検査を実施することは、避けてほしい。

(オ) 今後の調査・研究について

- ・今年度実施したアンケートは、公立高校に合格した生徒が対象となっており数が限られている。次年度は、年度内にアンケートを実施する等して、より多くの生徒の意見を聞き、引き続き入学者選抜の改善について検討する必要がある。

令和5年度千葉県県立高等学校入学者選抜の選抜方法について

1 選抜のための資料(下記その他、志願理由書、自己申告書など提出)

学力検査	調査書		学校設定検査
国・数・英・理・社 100点×5	評定の全学年 の合計値 135点	記載事項の加点 学校ごとに設定	面接、集団討論、自己表現、 作文、小論文、適性検査、 学校独自問題、その他の検査

(1) 学力検査の成績

教科	普通科	専門学科
国語	100点	
数学	100点	理数 100点×1又は1.5又は2
英語	100点	国際関係 100点×1又は1.5又は2
理科	100点	理数 100点×1又は1.5又は2
社会	100点	
合計	500点	

(2) 調査書

評定の全学年の合計値	135点	135点×(0.5~2)
記載事項の加点	英検、ボランティア 県大会出場 など	0~50点

(3) 学校設定検査 <各検査10点~100点まで>

面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、学校独自問題、その他の検査	1検査 100点まで 2検査以上 合計 150点まで
適性検査(専門学科のみ)	1検査 100点まで 2検査以上 合計 150点まで
面接を加える場合	面接 50点まで
その他の検査として、 思考力を問う問題 (県作成 60分)	100点

2 選抜方法

どのような生徒を育てたいか
どのような教育を行うか
どのような生徒を求めるのか
どのような選抜が必要か

学力検査	各配点(満点)の決定
調査書の評定の全学年の合計値	
調査書の記載事項の評価項目	
学校設定検査の項目	

- ・原則として、選抜のための各資料の得点を合計した「総得点」に基づき、総合的に判定して選抜を行うものとする。
- ・「審議の対象とする」評価を有する者については、特に慎重に審議して総合的に判定する。

学 力 検 査 500点 (一部専門学科の 傾斜配点あり)	調 査 書 評 定 値 135点×K (K:0.5~2の数値)	調 査 書 記 載 事 項 の 加 点 0~50点	学 校 設 定 検 査 1検査:10点~100点 (2検査以上は合計が150点まで、 適性検査×2+面接⇒面接は50点まで)
--	---	--	---

○2段階の選抜を行う場合

1 段 階 目	学 力 検 査	調 査 書 評 定 値	調 査 書 記 載 事 項	学 校 設 定 検 査
------------------	------------------	----------------------------	---------------------------------	----------------------------

2 段 階 目	学 力 検 査	調 査 書 評 定 値	調 査 書 記 載 事 項	学 校 設 定 検 査
	(1段階目の配点)×k4	(1段階目の配点)×k1	(1段階目の配点)×k2	(1段階目の配点)×k3

20%
以下

(k1、k2、k3は1以上、k4は1以上1.5以下)

令和5年度千葉県県立高等学校入学者選抜の選抜方法について

どのような生徒を育てたいか	どのような生徒を求めるのか
どのような教育を行うか	どのような選抜が必要か



各配点(満点)の決定

学力検査	500点(一部専門学科の傾斜配点あり)
調査書の評定の 全学年の合計値	135点×K (K:0.5~2の数値)
調査書の記載事項 の評価項目	0~50点
学校設定検査の 項目	1検査:10点~100点 (2検査以上は合計が150点まで、 適性検査×2+面接⇒面接は50点まで)

2段階の選抜

【1段階目】 募集人員の80%以上	【2段階目】 募集人員の20%以下
学力検査	学力検査×k4
調査書の評定の全学年の合計値×K	調査書の評定の 全学年の合計値 ×K×k1
調査書の記載事項の評価項目	調査書の記載事項 の評価項目×k2
学校設定検査の項目	学校設定検査の 項目×k3

(k1、k2、k3は1以上、k4は1以上1.5以下)

		A案		B案		A'案		B'案		令和6年度(参考)		
2月	1	土		1	土		1	土		1	木	
	2	日		2	日		2	日		2	金	
	3	月		3	月		3	月		3	土	
	4	火	出願受付	4	火	出願受付	4	火		4	日	
	5	水	出願受付	5	水	出願受付	5	水	出願受付	5	月	
	6	木	出願受付	6	木	出願受付	6	木	出願受付	6	火	出願受付
	7	金	①	7	金	①	7	金	出願受付	7	水	出願受付
	8	土		8	土		8	土		8	木	出願受付
	9	日		9	日		9	日		9	金	①
	10	月	②	10	月	②	10	月	①	10	土	
	11	火	建国記念の日	11	火	建国記念の日	11	火	建国記念の日	11	日	建国記念の日
	12	水	志願・希望変更	12	水	志願・希望変更	12	水	②	12	月	振替休日
	13	木	志願・希望変更	13	木	志願・希望変更	13	木	志願・希望変更	13	火	②
	14	金	①	14	金	①	14	金	志願・希望変更	14	水	志願・希望変更
	15	土		15	土		15	土		15	木	志願・希望変更
	16	日		16	日		16	日		16	金	①
	17	月	②	17	月	②	17	月	①	17	土	
	18	火	本検査	18	火	本検査	18	火	②	18	日	
	19	水	本検査	19	水	本検査	19	水	本検査	19	月	②
	20	木	①	20	木	①	20	木	本検査	20	火	本検査
	21	金	②	21	金	追検査受付	21	金	①	21	水	本検査
	22	土		22	土		22	土		22	木	①
	23	日	天皇誕生日	23	日	天皇誕生日	23	日	天皇誕生日	23	金	天皇誕生日
	24	月		24	月		24	月		24	土	
	25	火	追検査受付	25	火	追検査受付	25	火	②	25	日	
	26	水	追検査受付	26	水	①	26	水	追検査受付	26	月	追検査受付
	27	木	①	27	木	追検査	27	木	追検査受付	27	火	追検査受付
	28	金	追検査	28	金	①	28	金	①	28	水	①
									29	木	追検査	
3月	1	土		1	土		1	土		1	金	①
	2	日		2	日		2	日		2	土	
	3	月	①	3	月	②	3	月	追検査	3	日	
	4	火	発表	4	火	発表	4	火	①	4	月	発表
	5	水	①	5	水	①	5	水	発表	5	火	①
	6	木	②	6	木	②	6	木	①	6	水	②
	7	金	2次受付	7	金	2次受付	7	金	②	7	木	2次受付
	8	土		8	土		8	土		8	金	2次志願変更
	9	日		9	日		9	日		9	土	
	10	月	2次志願変更	10	月	2次志願変更	10	月	2次受付	10	日	
	11	火	①	11	火	①	11	火	2次志願変更	11	月	①
	12	水	2次検査	12	水	2次検査	12	水	①	12	火	2次検査
	13	木	①	13	木	①	13	木	2次検査	13	水	①
	14	金	2次発表	14	金	2次発表	14	金	①	14	木	2次発表
15	土		15	土		15	土		15	金		
16	日		16	日		16	日		16	土		
17	月		17	月		17	月	2次発表	17	日		
18	火		18	火		18	火		18	月		
19	水		19	水		19	水		19	火		
20	木	春分の日	20	木	春分の日	20	木	春分の日	20	水	春分の日	
21	金		21	金		21	金		21	木		
22	土		22	土		22	土		22	金	終業式	
23	日		23	日		23	日		23	土		
24	月	終業式	24	月	終業式	24	月	終業式	24	日		
25	火		25	火		25	火		25	月		
26	水	追加募集	26	水	追加募集	26	水	追加募集	26	火	追加募集	
27	木	追加募集	27	木	追加募集	27	木	追加募集	27	水	追加募集	
28	金		28	金		28	金		28	木		
29	土		29	土		29	土		29	金		
30	日		30	日		30	日		30	土		
31	月		31	月		31	月		31	日		

令和6年度選抜及び中学校卒業式日程（参考）

【入試関係】

千葉県公立高等学校

選抜等	日程
本検査	令和6年2月20日（火） 2月21日（水）
追検査	令和6年2月29日（木）
第2次募集	令和6年3月12日（火）

千葉県私立高等学校

選抜等	日程
前期選抜（一般）	令和6年1月17日（水）～
後期選抜	令和6年2月15日（木）～

東京都私立高等学校

選抜等	日程
推薦開始日	令和6年1月22日（月）～
一般開始日	令和6年2月10日（土）～

木更津工業高等専門学校

選抜等	日程
学力試験	令和6年2月11日（日）

都立産業技術高等専門学校

選抜等	日程
学力試験	令和6年1月26日（金）

筑波大学附属高等学校

選抜等	日程
学力検査	令和6年2月13日（火）

お茶の水女子大学附属高等学校

選抜等	日程
学力検査	令和6年2月13日（火）

茨城県立高等学校

選抜等	日程
学力検査	令和6年2月28日（水）

埼玉県公立高等学校

選抜等	日程
学力検査	令和6年2月21日（水）

東京都立高等学校

選抜等	日程
一次試験	令和6年2月21日（水）

【中学校卒業証書授与式（予定）】

市	日程
千葉市、柏市、習志野市	令和6年3月8日（金）
銚子市	令和6年3月9日（土）
船橋市	令和6年3月13日（水）
松戸市、我孫子市の一部	令和6年3月14日（木）

【令和5年度】

<参考>

日程
令和5年2月21日（火） 2月22日（水）
令和5年3月1日（水）
令和5年3月13日（月）

日程
令和5年1月17日（火）～
令和5年2月15日（水）～

日程
令和5年1月22日（日）
令和5年2月10日（金）

日程
令和5年2月12日（日）

日程
令和5年1月27日（金）

日程
令和5年2月13日（月）

日程
令和5年2月13日（月）

日程
令和5年3月3日（金）

日程
令和5年2月22日（水）

日程
令和5年2月21日（火）

日程
令和5年3月10日（金） （千葉、船橋、柏、松戸市等）
令和5年3月11日（土） （銚子市）
令和5年3月14日（火） （習志野市）
令和5年3月15日（水） （我孫子市）

令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜の改善策について

令和5年7月19日
千葉県教育委員会

- 【改善策1】学力検査問題の解答方法は、短答を含む記述式（以下、記述式という。）とマークシート式の併用型とする。
- 【改善策2】記述式部分の採点は、デジタル採点システムにより、別の採点者がそれぞれ採点を行った後、結果を突き合せて確認を行う。
- 【改善策3】合否のボーダーライン付近の答案点検を実施する。
- 【改善策4】採点・点検を行うための臨時休業日を追加で設定できるようにする。
- 【改善策5】採点・点検は、原則として全ての学校において同一の方法で行う。

1 出題について

- (1) 従来どおり、記述式及び選択式が混在した問題とし、出題方針^{※1}について、昨年度からの変更はない。
- (2) 選択問題は、マークシート式による解答とする。

2 採点・点検について

- (1) 答案は、専用機で読み取り、選択問題（マーク部分）については自動採点となる。記述問題については、デジタル採点システム^{※2}により採点を行う。
- (2) 記述問題については、1人の受検者に対し、2系統で採点（1つの問題を異なる採点者がそれぞれ採点）を行ったのち、2つの採点結果を突き合わせて、採点誤りがないか確認を行う。この突き合わせは、デジタル採点システムにおいて、自動で行うことができる。2つの採点が不一致の場合は、採点者で協議し、再度採点を行う。
- (3) 合否のボーダーライン付近の受検者については、採点誤りがないか、全ての答案について改めて点検を行う。

3 日程について

採点に集中できる環境を整える方策の1つとして、各高等学校からの希望に応じて、採点・点検を行うための臨時休業日の追加の届け出を認める。

4 今後の県教育委員会の対応

- (1) 受検予定者に対し、解答用紙のサンプルを早い時期に公表する。
- (2) 県教育委員会がマニュアルを作成し、全ての公立高等学校に向け採点方法及び点検方法等を具体的に示す。
- (3) 合否のボーダーライン付近の点検の対象人数や得点幅等については、県教育委員会で今後検討し、定める。

別紙資料

- ※1 出題方針
- ※2 デジタル採点システムのイメージ（2系統の採点、点検を含む。）

令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜における
学力検査の実施教科及び出題方針について

1 実施教科

一般入学者選抜等の「本検査」及び「追検査」

国語、数学、理科、社会は、各教科50分、英語は60分（配点は各100点満点）

※国語の問題は、放送による聞き取り検査を含む。

英語の問題は、放送によるリスニングテストを含む。

2 出題方針

(1) 国語

ア 学習指導要領に基づき、国語の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにする。

イ 様々な文章について、内容を的確に理解し、書き手の伝えたいことなどを考察する力をみることができるようにする。

ウ 自分の立場や考えとその根拠が明確になるように、複数の情報を整理し判断する力をみることができるようにする。

エ 言葉による見方・考え方を働かせ、自分の言葉で考えを適切にまとめたり、相手に的確に伝えたりする力をみることができるようにする。

(2) 数学

ア 学習指導要領に基づき、数学的な見方・考え方を働かせながら行う数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を身に付けているかをみることができるようにする。

イ 数学の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにする。

ウ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、統合的・発展的に考察する力及び表現する力をみることができるようにする。

エ 問題解決のために、数学を活用して粘り強く考える力をみることができるようにする。

(3) 英語

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識及び技能と、英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、理解したり表現したりする力を全領域にわたり身に付けているかをみることができるようになる。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通して、対話文やまとまりのある文章から話し手の意向や大切な事柄を聞き取り、適切に判断して答える力をみることができるようになる。
- ウ 「読むこと」の領域では、日常的、社会的な話題に関する文章や図表、イラスト等から、必要な情報、概要や要点を読み取り、適切に答える力や、読み取った情報を基に思考し、判断する力をみることができるようになる。
- エ 「話すこと [やり取り]」及び「話すこと [発表]」と「書くこと」の領域では、日常的、社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて話したり伝え合ったりする力及び自分の考えなどを英語でまとめ、適切に書く力をみることができるようになる。

(4) 理科

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようになる。
- イ 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項の知識や、観察、実験の技能を身に付けているかをみることができるようになる。
- ウ 観察、実験のデータ及び図や表などを活用し、理科の見方・考え方を働かせ、結果を分析して解釈する力、そしてそれを表現する力をみることができるようになる。
- エ 日常生活の中で起こる現象や身近な事物について進んで関わり、科学的に探究しようとしているかをみることができるようになる。

(5) 社会

- ア 学習指導要領に基づき、地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようになる。
- イ 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようになるとともに、現代社会の諸課題に対する理解の程度をみることができるようになる。
- ウ 統計や地形図、写真などの諸資料を活用し、社会的な見方・考え方を働かせ、社会的な事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力をみることができるようになる。
- エ 現代社会の諸課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察する力や筋道を立てて思考する力をみることができるようになる。

令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜における思考力を問う問題の構成・検査時間・配点及び出題方針について

1 思考力を問う問題の構成・検査時間・配点

一般入学者選抜の「本検査」及び「追検査」における学校設定検査のうち、その他の検査として実施する。

国語・数学・英語の3教科で構成され、60分、配点は100点満点とする。

2 出題方針

基礎的・基本的な知識及び技能を十分に活用して、様々な事柄を関連付けて、より正確に理解する力と、より深く思考する力を重視する。

(1) 国語

文章を筋道立てて細部まで読み取る力と、そのことについて他者に正しく明確な表現で伝える力をみることができるようになる。

(2) 数学

数学的に問題をとらえ、論理的に考察する力、統合的・発展的に考察する力及び表現する力をみることができるようになる。

(3) 英語

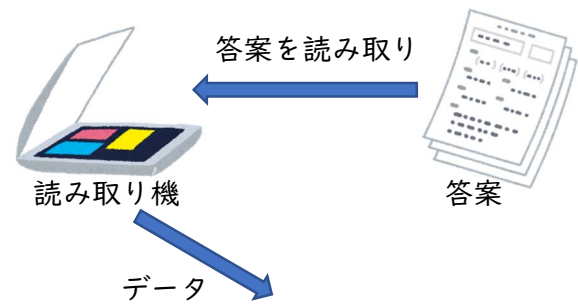
英語のコミュニケーションについて、発信されている内容を正しく理解し、論理的、批判的に思考し、判断する力、表現する力をみることができるようになる。

デジタル採点システムのイメージについて

1 読み取り

専用機で答案を読み取る。(記述とマークを同時に読み取り可能)

短答を含む記述式部分は、画像としてホストPCに保存する。選択問題部分は、マークシートのため、読み取ったデータをホストPCに保存すると同時に自動採点され、得点も集計される。

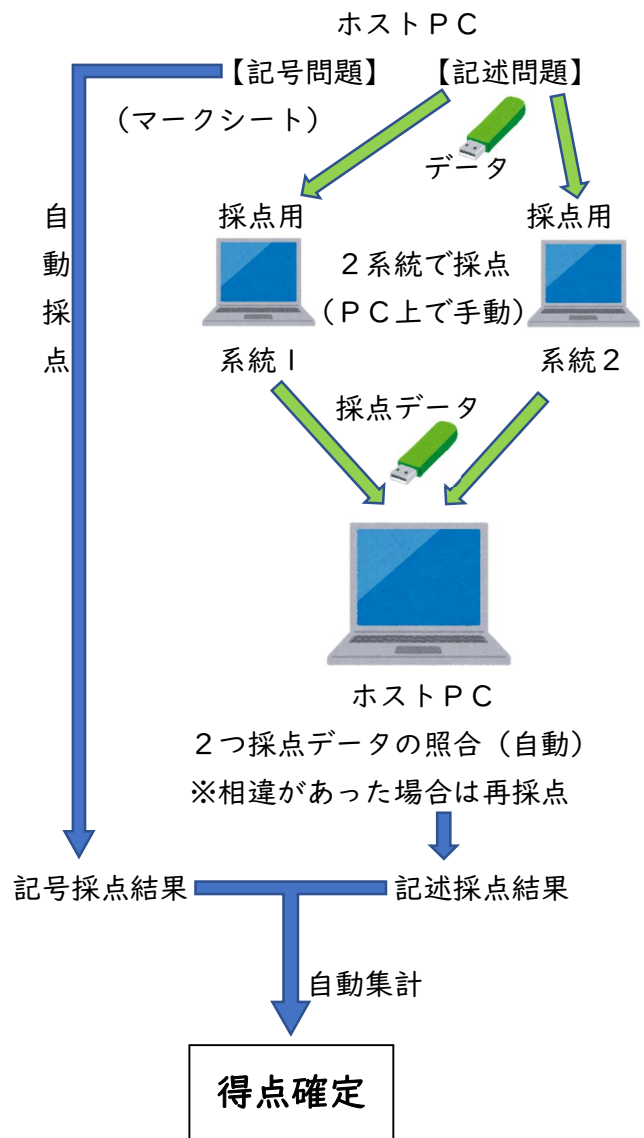


2 採点 (記述式部分)

各教科で担当する問題を決め、担当者がそれぞれPCの画面上で採点を行う。

基本的に○か×を付けていく。部分点のある問題の対応も可能で、採点と同時に得点が自動集計される。配点は事前に県教委で入力しておくことができる。

この採点を完全に分離した2システムで行う。同一の担当者が、システム1とシステム2の同一問題を担当することはないようにする。



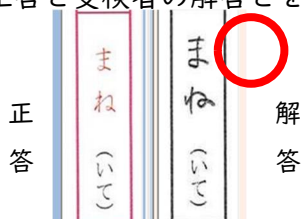
3 点検

2システムで行った採点データをホストPCに取り込み、2つの採点データを自動で突き合わせる(照合させる)。相違があった場合、採点者2名による再採点を行う。マークシートの塗りつぶしミス等の確認を行う。

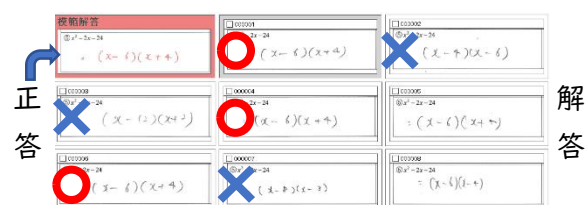
4 記号問題と記述式問題の採点結果を集計し、得点を確定させる。

【採点画面例】

① 正答と受検者の解答とを並べて採点



② 複数の解答を同一画面上に並べて採点



令和 6 年度千葉県公立高等学校入学者選抜 マークシート式及び記述式問題による学力検査の実施について

令和 5 年度に実施する令和 6 年度千葉県公立高等学校入学者選抜の本検査・追検査において、マークシート式及び記述式問題による学力検査を実施します（学校設定検査の「思考力を問う問題」を含む。）。

マークシート式及び記述式問題の解答用紙の例及び注意事項

下は、英語の解答用紙の例です。マークシート式の解答は、マーク欄をHB又はBの濃さの黒鉛筆（シャープペンシルでも可）で塗りつぶします。なお、解答用紙は裏面を使用することもあります。

令和 5 年度 本検査 学力検査

英 語 解 答 用 紙

氏 名	
-----	--

解答上の注意事項

1 マークシート式で解答する問題は、○ の中を正確に塗りつぶすこと。

良い例	悪い例
●	 線 ○ 小さい ● はみ出し ○ 丸み ○ レ点 ○ うすい

2 記述式で解答する問題は、解答欄からはみ出さないように書くこと。

3 答えを直すときには、きれいに消して、消しくずを残さないこと。

受 検 番 号

①	①	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨

1	No. 1 (A) (B) (C) (D)	No. 2 (A) (B) (C) (D)	No. 3 (A) (B) (C) (D)
---	-----------------------	-----------------------	-----------------------

2	No. 1 (A) (B) (C) (D)	No. 2 (A) (B) (C) (D)	
---	-----------------------	-----------------------	--

3	No. 1 (A) (B) (C) (D)	No. 2 (A) (B) (C) (D)	
---	-----------------------	-----------------------	--

4	No. 1	① t			②			
	No. 2	①			②			

5	(1)					(2)						
	(3)	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ
	(4)	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ
	(5)	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ	→	ア イ ウ	エ オ

6	(1)										
---	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

マーク式解答部分

記述式解答部分

※ この見本は、令和 5 年度入学者選抜学力検査の問題を基に作成しています。

20

- ・解答を書き直す場合は、消しゴムを使ってきれいに消してください。消し忘れや、消し方が不十分な場合及び消しきりが残っている場合は、読み取りエラーが起こることがあります。
- ・解答用紙を折り曲げることや、汚すことがないようにしてください。
- ・所定の記入欄以外の余白には、何も記入しないでください。

記述式解答の注意事項

- ・解答欄をはみ出さないように記述してください。記述式解答は、解答欄をパソコンの画面に表示して採点します。



マーク式解答の注意事項

<p>良い例</p> <p>● 濃くはっきりと塗りつぶしている</p>	<p>悪い例 ※読み取りエラーが起こることがあります。</p> <p>☞ 線を引くだけで塗りつぶしていない</p> <p>☞ はみ出している</p> <p>☞ レ点を記入し、塗りつぶしていない</p> <p>☞ 塗りつぶす箇所が小さい</p> <p>☞ 輪郭をなぞっているだけ</p> <p>☞ 塗りつぶし方が薄い</p>
-------------------------------------	---

※ 受検番号の塗り方

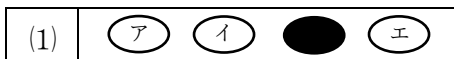
右の例のように、全ての教科において、受検番号は左から右に手書きで上部に記入し、該当するマーク欄を塗りつぶします。なお、裏面に受検番号を記入する教科もあります。

受 検 番 号			
1	1	5	8
① ●	① ●	① ○	① ○
② ○	② ○	② ○	② ○
③ ○	③ ○	③ ○	③ ○
④ ○	④ ○	④ ○	④ ○
⑤ ○	⑤ ○	⑤ ●	⑤ ○
⑥ ○	⑥ ○	⑥ ○	⑥ ○
⑦ ○	⑦ ○	⑦ ○	⑦ ○
⑧ ○	⑧ ○	⑧ ○	⑧ ●
⑨ ○	⑨ ○	⑨ ○	⑨ ○

○符号を選択する形式の解答例

符号を選択する場合は、その符号のマーク欄を塗ります。

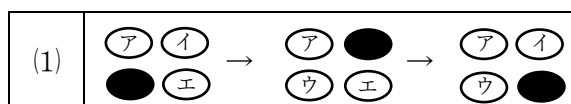
- ① 1つだけ選択する場合 (例) 正答が「ウ」



- ② 2つ以上を同時に選択する場合 (例) 正答が「ア」、「イ」、「ウ」



- ③ 並び替えをする場合 (例) 正答が「ウ」→「イ」→「エ」



○数値を答える形式の解答例

数値を答える場合は、かな符号（あ、い、う、え、…）にあてはまる符号（-）や数値（0～9）を解答欄の例のように塗りつぶします。

- ① $2 + 3 =$ あ の場合、答えは5なので、次のように塗ります。

解答欄の例

あ	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ② $5 \times 8 =$ いう の場合、答えは40なので、次のように塗ります。3桁以上も同様です。

い	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
う	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

- ③ $-4 \times 7 =$ えおか の場合、答えは、-28なので、次のように塗ります。

え	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
お	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

※ ②と③から、例えば、解答欄が3行の場合、答えは「3桁の数」または「負の数で2桁の数」となります。

- ④ 答えが分数となる場合、分子の数を先に塗り、分母の数を後に塗ります。
なお、答えに分数が含まれる場合は、それ以上約分できない形で解答します。

例えば、 $\frac{\text{き}}{\text{く}}$ に $\frac{2}{3}$ を解答する場合は、次のように塗ります。

$\frac{4}{6}$ と解答した場合は、正解になりません。

き	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
く	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

- ⑤ 答えが分数かつ負の数となる場合は、分子に-（マイナス）をつけて解答します。

例えば、 $\frac{\text{けこ}}{\text{さし}}$ に $-\frac{5}{13}$ を解答する場合は、 $\frac{-5}{13}$ とし、次のように塗ります。

け	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
こ	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
さ	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

⑥ 答えに根号が含まれるときは、根号の中を最も小さい自然数とした形で解答します。

例えば、 $\sqrt{\text{せ}}$ に $4\sqrt{2}$ を解答する場合は、次のように塗ります。

$2\sqrt{8}$ と解答した場合は、正解になりません。

す	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
せ	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

⑦ 答えに文字が含まれ、係数を答えるときは次のように解答します。

例えば、 $a - \text{た}$ b に $9a - 6b$ と解答する場合は、次のように塗ります。

そ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
た	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

⑧ 答えが順不同となる時、例えば、 $x^2 - 5x + 6 = (x - \text{ち})(x - \text{つ})$ の場合、

左辺を因数分解すると、 $(x - 2)(x - 3)$ または $(x - 3)(x - 2)$ となります。

この場合、次の塗り方のどちらも正解となります。

ち	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
つ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
つ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○